

●一般プレス金型設計製作●噴射金型設計製作●精密部品加工●自動組立
Takayama Press
 株式会社 高山プレス製作所
 本社・工場/〒811-3124 福岡県古賀市葉王1736
 TEL(092)946-3136(代) FAX(092)946-3812

ROCKY 鮎く未来の創造ロッキーブランド
 ■各種ローラーリジョイント ■超高圧水射流洗浄装置 ■金属・IC樹脂パリ取り装置
R/Xリックス株式会社
 本社開発センター 〒811-2112 福岡市博多区中洲1321-7 TEL 092-935-8013
 福岡事務所 ISO9001/14001認証取得 東証2部上場 URL <http://www.rtx.co.jp>

NDK 涡流探傷検査
日本電測機株式会社
 本社 北九州市八幡西区千代ヶ崎1丁目13-20
 TEL 093-603-9377 FAX 093-603-9381
 営業所 北九州、大阪、東京、名古屋、小浜

■プレス金型設計製作■金属プレス加工・製品組立
森尾プレス工業株式会社
 本社工場 〒812-0897 福岡市博多区半道橋1-14-16
 TEL(092)411-3171 FAX(092)461-0722
 大分工場 〒871-0101 大分県中津市三光森山311-1
 TEL(0979)43-2835 FAX(0979)43-2879

耐摩耗・耐熱・耐蝕性部品
 超硬・セラミック・溶接・内蔵溶射・特殊合金鍛鉄 他
KARINO
 株式会社 荏野
 代表取締役 荏野 翔
 福岡県直方市上頓野4636-10 〒822-0003
 Tel: (0949)26-2447 Fax: (0949)26-2418
 http://www.karino-g.com

高度なプラント技術と溶射技術の複合施工
 ●各種溶射加工および特殊内蔵溶接
 ●鉄鋼生産設備等の設計・製作・据付工事
富士岐五産株式会社
 本社 〒807-0801 北九州市八幡西区本城4-8-16
 TEL 093-602-8670 FAX 093-601-0603
 事業所 名古屋・北九州・大分・広島

SHK “診る”を究めて
新日本非破壊検査株式会社
 〒803-8517 北九州市小倉北区井堀4-10-13
 TEL:093(581)1235 FAX:093(571)5008
 http://www.shk-k.co.jp

●JIS溶接評価試験受付 ●アーク特別教育 ●受験対策講習
一般社団法人 福岡県溶接協会
 理事長 飯田 寛
 〒807-0831 福岡県北九州市八幡西区則松3-6-1
 福岡県工業技術センター機械電子研究所内
 TEL:093-602-7751 FAX:093-602-7828

材料から部品・構造部材の試験・分析および破損診断をお引き受けします。
 PCB、アスベストなど環境負荷物質の分析もご相談ください。
NSST 日鉄住金テクノロジー株式会社
 八幡事業所 <http://nst.nssmc.com/>
 鉄づくりで培った 豊富な経験と技術で 皆様のニーズにお応えします。
 〒804-0001 北九州市戸畠区飛幡2-1 TEL 093-972-5366 FAX 093-972-5368

直鞍産業振興センターADOX福岡
 理事長 大塚 進弘
一般財団法人 直鞍情報・産業振興協会
 本館(EMC事業部) 〒822-0031 福岡県直方市大字植木1245-2
 別館(産業振興事業部) 〒822-0031 福岡県直方市大字植木1249-1
 TEL 0949-29-1400 FAX 0949-24-5300 TEL 0949-22-0575 FAX 0949-22-2700

地域企業の発展を支援する

福岡県工業技術センター
機械電子研究所



放熱特性の高い発電機負荷試験装置を開発

■マグネシウム合金への
 表面処理技術の開発
 九州にはマグネシウム
 製品を取り扱い表面処理
 業者がなく、多くは関東
 や関西に送られて処理さ
 れている。機械電子研究
 所は九州内外の需要を取
 り込むため正信(福岡市)
 博多区)、ケイアンドエ
 ムテクノロジー(福岡県)
 質感を生かしたデザイン
 が可能となる。

岡垣町)と
 共同で、独自の化成処
 理技術を開
 発した。同
 時は業界
 トップクラ
 スの耐食性
 を持ち、塗
 装密着性に
 優れる。正
 体解析CAEコンピュ
 ター利用エンジニアリン
 グを利用、放熱特性の
 評価を行える。
 が可能となる。

■発電機負荷試験装置
 発電機負荷試験装置
 は、発電所や工場で
 正常に機能するかどうか
 を試験する。機械電子研
 究所は赤司電機(福岡県
 遠賀町)と共同で、熱流
 量が從来機比25%増加し
 た。管体(きょううたい)
 サイズが同等ながら容
 量を試験装置の大容量化へ
 に來いた。従来の設計手法は限界
 を比較検討でき、ヒー
 ターの配置や冷却ファン
 の仕様などを最適化した。
 要があり、経験と勘に頼
 て試験装置の大容量化へ
 に來いた。



赤尾哲之所長インタビュー

事例紹介



金属質感を生かしたデザインが可能 (スマートフォンケース)

■マイクロフォーカス
 X線CTシステム
 本の公設試験研究機関で
 JK(A(東京都千代田
 区)の補助を受け、西日
 本の公設試験研究機関で
 事例紹介

岡垣町)と
 共同で、独自の化成処
 理技術を開
 発した。同
 時は業界
 トップクラ
 スの耐食性
 を持ち、塗
 装密着性に
 優れる。正
 体解析CAEコンピュ
 ター利用エンジニアリン
 グを利用、放熱特性の
 評価を行える。
 が可能となる。

■発電機負荷試験装置
 発電機負荷試験装置
 は、発電所や工場で
 正常に機能するかどうか
 を試験する。機械電子研
 究所は赤司電機(福岡県
 遠賀町)と共同で、熱流
 量が從来機比25%増加し
 た。管体(きょううたい)
 サイズが同等ながら容
 量を試験装置の大容量化へ
 に來いた。

要があり、経験と勘に頼
 て試験装置の大容量化へ
 に來いた。従来の設計手法は限界
 を比較検討でき、ヒー
 ターの配置や冷却ファン
 の仕様などを最適化した。
 要があり、経験と勘に頼
 て試験装置の大容量化へ
 に來いた。

■マイクロフォーカス
 X線CTシステム
 本の公設試験研究機関で
 事例紹介

要